

特集

地球温暖化

はじめようエコライフ

12月は「地球温暖化防止月間」

温暖化のメカニズム

早

いもので今年も残すところ1か月あまり。季節は秋から冬へ移ろうとしています。振り返れば今年の夏は暑かったですね。今年に限らず、年々暑くなっているように感じます。「温暖化の影響やうね」なんて会話を交わした人も多かったのではないのでしょうか？地球温暖化は、今や誰もが知っている最も身近でありながら大きな環境問題と言えます。

地球温暖化。その大きな要因が二酸化炭素（以下CO₂）の増加だということは、すでにご存知のことと思います。反面、CO₂排出抑制のための取り組みとなると、なかなか進んでいないのが現状です。しかし、このところの夏の異常とも思える暑さからも分かるように、その影響はすでに私たちの日常に現れてきています。強大化した台風やハリケーン、熱波や洪水、干ばつなど、地球温暖化がすでに進行していると感じられるような現象が世界のあちこちで起きています。7月に開催された北海道洞爺湖サミットでも地球温暖化問題が大きなテーマとして取り上げられました。

地球はもはや待ったなしの状態にまで来ています。12月は「地球温暖化防止月間」です。地球を守るため私たちに何ができるか、考えてみませんか？

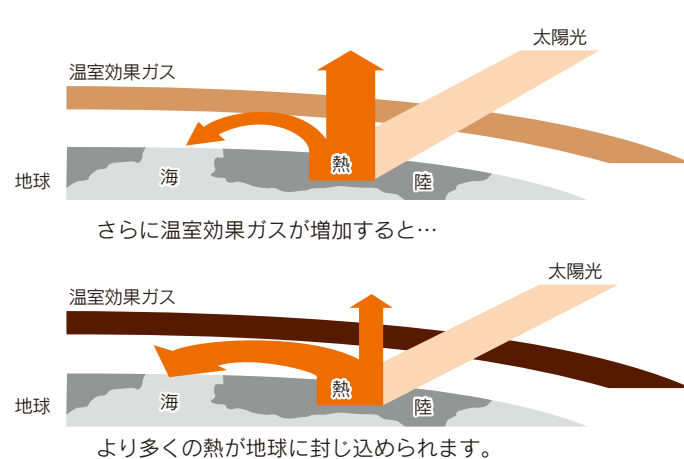
地

地球の平均気温は14℃前後。これは大気中にあるCO₂やメタンなどの温室効果ガスが、太陽からの熱を地球に封じ込めるからです。温室効果ガスが全く存在しなければ、平均気温はマイナス19℃になると言われています。CO₂などの温室効果ガスは、地球上で生物が生きるために不可欠なものです。しかし産業革命以降、人間は石油や石炭などの化石燃料を大量に燃やして使用してきました。その結果、大量のCO₂が大気中に排出され、温室効果がこれまでよりも強くなりました。そのため地球の温度が上昇しています。これを「地球温暖化」と呼んでいます。

このまま温暖化が進むと…

国

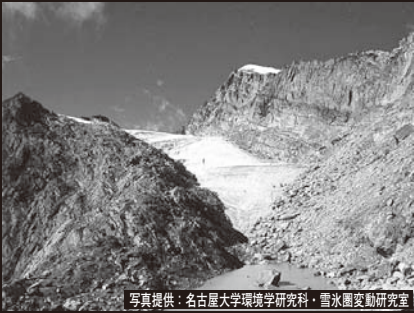
連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）によると、過去100年間に地球全体の平均気温が0.74℃上昇したと報告しています。また、このまま何の対策もしなければ100年後には最大6.4℃上昇すると予測されています。地球の気温が上がると、南極の水や氷河が溶け出し、海面が上昇します。低い土地や小さい島は海に沈むかもしれませ



ん。日本でも海面が1m上昇すると、砂浜の90%くらいがなくなってしまうと言われています。また洪水や干ばつなどの災害が増加するとも言われています。今年の夏多発した「ゲリラ豪雨」も温暖化が関係しているという学者もいます。他にも農作物への影響や、マラリアなど熱帯性の病気の発生も心配されています。

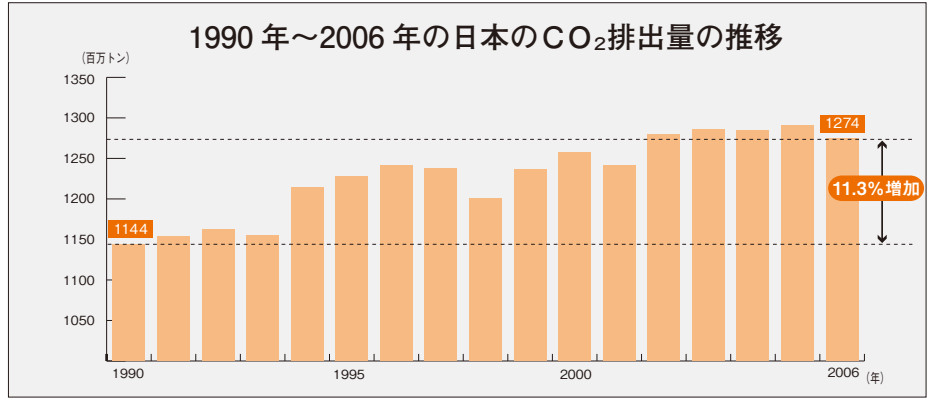


温暖化の影響で変貌する世界



(写真上から)

- ① アンデスから崩落するペリト・モレノ氷河。
地球温暖化によって氷河が滑り落ちる速度が早くなったと言われている。(2002.1.1, 栗林浩)
- ② 後退中のヒマラヤ(東ネパール)の氷河。
(1998.10.27, 名古屋大学環境学研究所・雪氷圏変動研究室)
- ③ マーシャル諸島海岸が浸食されている様子。
(2001.9.11, Masaaki Nakajima)
- ④ 立ち枯れの丹沢山系のブナ。(2002.9, 登坂克男)
(引用元) 全国地球温暖化防止活動推進センター
ウェブサイト (<http://www.jccca.org/>)より



※CO₂換算
※出典：温室効果ガスインベントリオフィス

増え続けるCO₂!

先

進各国は、1997年に京都市で開かれた第3回気候変動枠組条約締結国会議(地球温暖化防止京都市効果ガスの排出量を減らしていくことに合意しました。これが京都議定書です。

日本は世界でも4番目にCO₂を排出している国であり、1990年と比較して2012年までにCO₂の排出量を6%削減することを約束しています。しかし取り組みは進んでいません。2006年の排出量は、温室効果ガス全体では6.2%増加、CO₂だけを見ると11.3%増加しました(上グラフ参照)。中でも増えたのがオフィスや店舗で、1990年に比べ約40%増加しています。次に増えたのが家庭からの排出量で30%の増加です。

温暖化対策には国や行政の取り組みはもちろん必要ですが、私たち一人ひとりの暮らし方が大きなキーポイントになってきます。

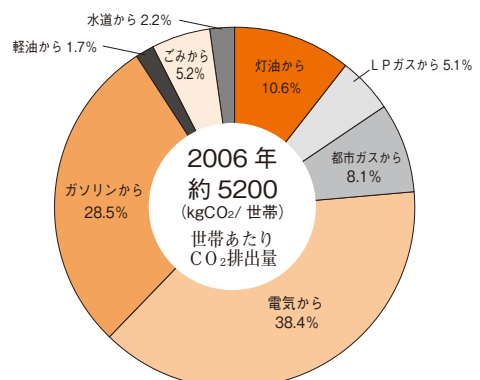
私

私たちは生活の中のさまざまな場面でCO₂を排出しています。CO₂を排出するだけで生活が豊かになるというだけでは、CO₂を排出しないようにするだけでは、私たちのライフスタイルを変革することが不可欠です。できるだけ不要なものを買わず、大事にものを使い、再利用やリサイクルを心がけることが大変重要になります。また、節電や節水、車の利用を控え自転車や公共交通機関を利用することも有効です。生活の中でできる限り資源・エネルギーの無駄遣いを排除し、再利用やリサイクルを推進していくこと、つまりエコライフへの変革が必要です。

地球が誕生して46億年。このままでは人類自らこの星を破壊してしまうかもしれません。青く美しい地球を次の世代に引き継ぐためにも、私たちが今、CO₂削減を行っていかねばなりません。難しいことではありません。日々のちよつとした心がけが積み重なれば大きな削減につながります。

ライフスタイルの見直しが必要

家庭からのCO₂排出量 (燃料種別)



※出典：温室効果ガスインベントリオフィス

さあエコライフをはじめましょう!

ます。みんなで行えばもっと大きな削減になります。まずは自分ができることを行動に移すことが重要なのです。

生ごみリサイクルで 元気野菜づくり



アサちゃんの店
山口アサ子さん

家庭などから排出される生ごみは、重量比でごみ排出量の約30%を占めています。生ごみは焼却されるため、その際にCO₂が排出されます。しかも水分を多く含んでいるので、より多くの燃料が必要になります。生ごみリサイクルは、ごみ減量化はもとより、資源の有効利用、温暖化防止などにもつながるのです。

家庭などでも手軽にできる生ごみリサイクルが堆肥化です。生ごみ堆肥で育てた野菜は栄養価が高く、「元気野菜」と言われています。そんな元気野菜づくりに取り組んでいるのが山口さん。古賀島町の自宅でご自身が育てた有機野菜などを販売する「アサちゃんの店」を営みながら、生ごみリサイクルによる野菜づくりの普及に力を入れています。

特に関わりが深いのが富の原小学校。富小では、3年前から3年生が総合的な学習の時間を利用して、大村の特産品である黒田五寸人参づくりを行っています。山口さんは自宅の畑を貸しながら、子どもたちにニンジンづくりのアドバイスなどを行っています。1年目は生ごみを集めるのが大変だったのですが、2年目からは学校給食の残りが利用できるようになりました。「最初は生ごみがくさいと言っていた子どもたちも、自分たちで育てたニンジンが採れるととてもうれしそうでした」と話されました。「アサちゃんの店」には、子どもたちからのお礼の手紙や写真などがたくさん飾ってあります。「生ごみを土に返すことでおいしい野菜ができます。それに市のごみ処理費用の節減にもなりますよ」と笑って話されました。

環境日記をつけて コンテストに応募



西大村小学校 6年
金子美穂さん

地球温暖化を始めとして毎日のように報道される環境問題。その中から気になった環境問題について、金子さんは3か月間、日記に書き続けました。

これは小学生を対象にした「みどりの小道」環境日記コンテストというもので、毎年全国各地から4,000点を超える応募があり、日記の内容から実行実践力・継続性・学び取ったことなどが総合的に審査されます。金子さんのお姉さんも6年生の時に応募して「銅賞」を受賞しました。お姉さんの影響と学童クラブの先生の勧めもあって、金子さんは5月8日から7月30日までの3か月間、環境日記に取り組みました。

それまでは環境問題にあまり関心がなかったという金子さん。しかし毎日、新聞の環境に関する記事を切り抜いたり、わからないことをインターネットや図書館で調べながら日記を書き続けるうちに、環境問題にも関心が出てきたそうです。「今でも買い物にはマイバックを持っていくし、資源物の分別リサイクルも行っています。節電や節水にも心掛けています」。

一番気になった環境問題は、地球温暖化。「夏の気温が高いし、秋になってもまだ暑い日があります。私が小さい時より暖かくなっていると感じます。温暖化の影響で海面が上昇して、ツバルの島がなくなるかもしれないと知った時は驚きました」。これからは友だちにも環境保全活動を勧めたいという金子さん。「ecoな活動をする人がいっぱい増えてほしいです」と明るく話してくれました。

※環境日記コンテストは、見事「佳作」に入賞されました。おめでとうございます。

マイバッグ持参運動で レジ袋削減



大村生活学校代表
金子セツ子さん

スーパーなどで配布されるレジ袋。家庭から排出されるプラスチックごみの中でも大きな割合を占めています。買い物袋を持参し、レジ袋の使用を控えようと、マイバッグ持参運動を展開しているのが大村生活学校です。主婦を中心とした約160人の会員の皆さんが月1回市コミセンに集まり、学習会などを行っています。

大村生活学校では、これまで合成洗剤の追放、ごみのリサイクル推進など、環境をテーマにした活動を行ってきました。マイバッグ持参運動については、小売事業者との対話集会などを重ねてレジ袋削減を呼びかけています。ここ数年は行政と協働し、市内スーパーでエコバッグの配布やマイバッグ持参率の調査などのマイバッグキャンペーンを行ったり、学校やイベント時に手作りマイバッグ講習会を開催しています。

「全国で1年間に消費されるレジ袋は300億枚。それを作るために60万キロリットル(2リットルのペットボトル3億本分)の石油が使われています。レジ袋を全くなすことはできないかもしれませんが、減らすことはできます」と金子さんは訴えます。

大村生活学校では、ほかにも廃油を利用したエコ石けん作りや、生ごみの堆肥化に使用するボカシづくりなども行っています。「資源は限られているのだから、有効利用しないとダメです。次の世代の子どもたちにきれいな地球を残すためにも、『もったいない』の心を呼びかけていきたいですね」と話されました。



できることから
はじめよう!

家庭でできる温暖化対策

※環境省「身近な地球温暖化対策」より

	取り組み内容	CO ₂ 削減効果（年間）
	<p>暖房の温度を1℃低く、冷房の温度を1℃高く設定しよう！ ウォームビズやクールビズを取り入れるなどして、空調機の設定温度を工夫して過ごしましょう。</p>	<p>約 33kg の削減 約 1,800 円の節約</p>
	<p>待機電力を 50%減らそう！ テレビなどの主電源を切りましょう。長時間使わないときはコンセントから抜きましょう。また、家電製品を買い替えるときは、待機電力の少ない製品を選ぶよう努めましょう。</p>	<p>約 60kg の削減 約 3,400 円の節約</p>
	<p>シャワーを 1日1分家族全員が減らそう！ 身体を洗っている間など、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。</p>	<p>約 69kg の削減 約 7,100 円の節約</p>
	<p>1日5分間、アイドリングストップをしよう！ 駐車や長時間停車するときは車のエンジンを切りましょう。大気汚染物質の排出削減にもつながります。</p>	<p>約 39kg の削減 約 1,900 円の節約</p>
	<p>風呂の残り湯を再利用しよう！ 洗濯や庭の水やりなどに利用しましょう。残り湯利用のために市販のポンプを使うと便利です。</p>	<p>約 7kg の削減 約 4,200 円の節約</p>
	<p>テレビ番組を選び、1日1時間利用時間を減らそう！ テレビをつけっぱなしにせず、見たい番組だけ選んで見るようにしましょう。</p>	<p>約 14kg の削減 約 800 円の節約</p>
	<p>炊飯器の保温を止めよう！ ポットや炊飯器の保温は利用時間が長いため、多くの電気を消費します。ごはんは電子レンジで温めなおす方が電気の消費は少なくなります。</p>	<p>約 34kg の削減 約 1,900 円の節約</p>
	<p>家族団らんで暖房、照明の利用を 2割減らそう！ 家族が別々の部屋で過ごす、暖房も照明も余計に必要になります。同じ部屋で団らんすることで照明などの利用を減らすことができます。</p>	<p>約 238kg の削減 約 10,400 円の節約</p>
	<p>週 2 回往復 8 km の車の運転をやめよう！ 通勤や買い物にはバスや自転車を利用しましょう。歩いたり自転車を使う方が健康にもいいですよ。</p>	<p>約 184kg の削減 約 9,200 円の節約</p>
	<p>マイバッグを持ち歩き、省包装の商品を選ぼう！ 買い物にはマイバックを持参し、レジ袋をもらわないようにしましょう。</p>	<p>約 58kg の削減</p>

これだけの取り組みを1年間行くと…CO₂約736kg、約40,700円が削減できます！



地球温暖化防止ポスター・標語コンクール入賞者 (敬称略)

ポスターの部

市長賞 新堂 愛(西大村小5年)



- 地球温暖化対策協議会長賞 田川浩子(萱瀬小6年)
- 教育長賞 倉田陽花(萱瀬小6年)
- 保健環境連合会長賞 中野恵梨香(大村小6年)
- 国際ソロプチミスト大村賞 横山きらら(大村小4年)
- 優秀賞 林田 碧(三城小6年)
- 丸野香奈美(松原小6年)
- 杉野咲希(竹松小5年)
- 清山敬由(富の原小4年)
- 福井翔太(西大村小4年)

標語の部

市長賞 岩永史佳(萱瀬中1年)

この地球 大事にしよう 明日のため

- 地球温暖化対策協議会長賞 谷口愁斗(郡中2年)
- 教育長賞 和田侑也(萱瀬中2年)
- 保健環境連合会長賞 野口翔太(桜が原中1年)
- 国際ソロプチミスト大村賞 上野剛生(郡中2年)
- 優秀賞 川原大尚(郡中2年)
- 武藤 航(郡中2年)
- 山内礼奈(郡中2年)
- 田原陽人(萱瀬中1年)
- 橋口まりあ(桜が原中1年)

入賞作品展示

市役所1階ロビー	12月 1日(月)~10日(水)
郡コミセン	12月11日(木)~18日(木)
市コミセン	12月19日(金)~28日(日)

●大村市地球温暖化対策協議会

市では、地球温暖化の防止活動に取り組んでいくため「大村市地球温暖化対策協議会」を設置しています。同協議会では、広報紙やホームページなどによる情報提供、温暖化防止ポスター・標語コンクールの実施、啓発用チラシ・看板の作成・配布など各種事業により、地球温暖化防止対策を行っています。



●アイドリング・ストップ

周知用看板を配布しています



駐車中のアイドリングストップを呼びかけるため、来客者用駐車場がある店舗・事業所などに看板設置のご協力をお願いしています。
ご協力いただける店舗・事業所は環境保全課にご連絡ください。

●毎月1回、ノーマイカーに

取り組みましょう

自動車を利用することで排出されるCO₂を減らすため、市および大村市地球温暖化対策協議会では、通勤や買い物などの自家用車利用の自粛(ノーマイカー)を推進しています。ご家庭や事業所などで、ノーマイカーデーを月1回決めて実施しましょう。

問い合わせ

環境保全課(内線142)

12月10日(水)~12日(金)

ノーマイカー 3 days

長崎県地球温暖化対策協議会では、県全体でのノーマイカー運動を実施しており、今年度2回目のノーマイカーデー運動を3日間実施します。

3日間のうちのいずれか1日、通勤などでのマイカー運転を自粛しましょう。